



20監庶Cオ-1第2号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

安曇野市長 平林伊三郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあったこのことについて
別添のとおりです。

安曇野市都市建設部監理課庶務係

TEL 0263-72-3111 FAX 0263-72-3569

Eメール kanri@city.azumino.nagano.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○移動手段を自動車に依存する地域が多い地方（本市）では、市民生活を支える幹線道路の整備が遅れており（県道の改良率＝81.9%、市道の改良率＝66.7%：18年調査）、災害時の通行止め、通勤時の渋滞など、多大な不便と不安を強いられている状況にあることから、地方にとって必要な道路整備を進めることができる制度及び財源の確保ができるよう制度を確立していただきたい。

○地方自治体にとって、救急車や消防車が通行できる道路を整備することは、市民の生命・財産を守る上で、必要不可欠な緊急課題であり、市民からの要望が最も多いものは、生活道路（市道）の改修や補修であることから、「地方にとって真に必要な道路」か否かの判断は、政府や国会議員がするのではなく、住民の暮らしに一番身近な地方自治体がすることであると考える。

○市民生活を支える道路整備にあつては、道路構造令にとらわれない整備も求められていることから、地域に合った道路整備を認め、支援していただくような制度を確立していただきたい。

○今後増大する維持管理費や資産の長寿命化のための補修費に対する国の助成が十分でないことから、安定した財源を確保できるような制度を確立していただきたい。

○高速道路、国道、県道の整備基準を明確に示し、それに基づき、計画的に整備を進めていただきたい。

また、高速道路の料金を引き下げ、市街地に用事のない通過車両は、高速（自動車専用）道路へ流すよう施策を講じられたい。

○都市と地方における人口・交通量の違いを認識し、一律のB/C（費用便益比）の指標だけが判断材料でないことも認識していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

長野県安曇野市

○現状	○課題
○機能的な道路網整備の遅れ ・地域高規格道路（中部縦貫・松本糸魚川など）の遅れ ・渋滞箇所[※]の未整備 ・市内横断軸（東西道路）の未整備 ○安心安全につながる道路整備の遅れ ・消防活動に支障をきたす市道が多く残っている ・小中学校の通学路で歩道の未整備箇所が残っている ・橋梁等の耐震対策が必要 ・山間地（(国)403号、(県)槍ヶ岳矢村線など）危険箇所の整備が必要 ・冬期における通行の安全確保 ○安曇野の景観を生かした道路環境の整備 ・市街地からアルプスを望めるよう景観に配慮した無電柱化が望まれている	※アンダーライン部は、直轄事業分 ○体系的な道路網を構築する必要がある ・広域幹線網として<u>地域高規格道路の整備</u> ・慢性的渋滞箇所（梓橋）の整備 ・国営公園アクセス道路の整備 ○産業の振興、生活の利便性や災害時などにおける安全性の向上を図る必要がある ・構造令にとられない道路整備 ・<u>国道19号（明科駅周辺の歩道整備）</u> ・市道においては規格外でも整備できる制度 ・耐震対策、長寿命化に対する支援 ・国、県による危険箇所の解消 ・除雪対策 ○環境・景観に配慮した適正な維持・管理・新設・改良を進めていく必要がある ・沿道における無電柱化

◎市道整備の方向

安曇野市の将来像

(総合計画における将来都市像)

「北アルプスに育まれ ころろ輝く 田園都市 安曇野」

道路整備に関する方針

(基本計画より)

「利便性・安全性が確保された道路整備を進めるとともに、人に優しい道づくりを推進し、体系的な道路網の構築を目指します」

具体的な施策

(地域として取り組むべき施策)

- 広域幹線道路ネットワーク (地域高規格・県道等) の整備
- 渋滞対策の推進 【梓橋の架け替え】
- 防災対策の推進 【橋梁の耐震化、落石等危険箇所の解消】
- 通学路の歩道整備の推進 【国道・県道・市道とも歩道整備】
- 適正な道路資産の維持管理 【老朽化した舗装の打替、除雪対策】
- 環境に配慮した道路整備 【駅周辺などのバリアフリー化、景観上沿道の無電柱化】

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④
長野県安曇野市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域の自立と活 力の強化	【国土交通省直轄事業】 ○中部縦貫自動車道の整備促進	○広域交通の円滑化を図るとともに、資 源豊かな松本・安曇野地域と北陸圏との 交流促進	
安全・安心の確保	○国道19号交通安全施設（歩道）の整備促進	○ゆとりある歩行空間の整備により歩行 者の安心・安全が確保されるとともに、 周辺商店街の再生に拍車がかかると期待 される	